

福島県立視覚支援学校・福島県立聴覚支援学校福島校

【発行所】

福島県立視覚支援学校・
福島県立聴覚支援学校福島校
後援会

〒960-8002 福島市森合町6番34号

TEL 024-534-2574

FAX 024-533-2470

E-mail fukushima-sb@fcs.ed.jp

後援会会報

第16号

「あたたかい優しいお気持ちに感謝して」



福島県立視覚支援学校・聴覚支援学校福島校 後援会長 西山 尚利

元日に能登半島地震が発生しました。お亡くなりになられた方々に哀悼の意を表しますとともに被災に遭われた方々に心からお見舞い申し上げます。

会員の皆様には本会の活動に深い御理解と温かい御支援を賜り、心から感謝申し上げます。先生方の御尽力のおかげで、視覚支援学校・聴覚支援学校福島校で学ぶ幼児児童生徒が自分の目標に向かい、学習・体育活動に励み、生活全般にわたり充実した時間を過ごすことが出来ました。厚く御礼申し上げます。

今年度、視覚支援学校に幼稚部が開設され幼児2名が入学しました。学校にもすっかり慣れて、ブランコ、絵の具遊びや音楽遊びなど、笑顔と楽しい声があふれています。また、部活動のフロアバレーボール競技においては、東北大会決勝戦で惜しくも敗れ、全国大会出場はなりませんでしたが、昨春卒業した先輩達にも負けない素晴らしい戦いぶりでした。これからも、様々な場面で、様々な経験を積み、何かを感じ、体得し、将来に向かって繋がって行くよう望みます。

どのような状況にあっても子どもが学校や地域・社会で共に学び、共に生きる教育を推進するという理念のもと、これからも後援会活動を続けてまいります。引き続き、学校教育の充実発展のため、後援会活動に対しましても一層の御支援・御協力をお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして平和な優しい温かい一年となりますようお祈りいたしまして御挨拶といたします。感謝

「御 礼」



福島県立視覚支援学校長・聴覚支援学校福島校分校長 郷家 俊哉

平素より後援会の皆様には、視覚支援学校及び聴覚支援学校福島校の教育活動に多大なる御支援を賜り、心より御礼申し上げます。

皆様からは、幼児児童生徒の学校生活がより楽しく、明るく、充実したものとなるために、今年度も様々な行事や進路対策、各種教材、学習環境整備等に多くの助成を賜りました。

視覚支援学校では、小学部の運動会や学習発表会、中学部の職場体験や総合学習、高等部における福島高校との合唱部定期演奏会賛助出演や理療科臨床体験発表会など、多くの御支援を賜りましたことに心より御礼を申し上げます。また、福島校の運動会や遠足、幼稚部のお楽しみ会等への助成により、幼児児童の活動の幅をさらに広げることができましたことに心より感謝申し上げます。

昨年5月に新型コロナウイルス感染症の感染法上の分類が5類に引き下げられたことを受け、教育活動は感染拡大前の状況に徐々に近づきつつありますが、単に元の状態に戻すのではなく、活動の内容や時間の掛け方などをこれまで以上に深く吟味しながら、よりよい教育活動の在り方を模索していく機運が高まりつつあります。個別最適な学び、協働的な学び、探究的な学びへと変革を目指しながら、よりよい教育活動を心掛けてまいりたいと思います。

結びに、皆様から賜りました御支援に改めて御礼を申し上げますとともに、引き続きのお力添えをお願い申し上げます。



教育活動報告



会員の皆様よりいただいた会費は、視覚支援学校・聴覚支援学校福島校の教育活動の中で、有効に使わせていただいております。ここでは、多くの補助を受けて実施された教育活動の中から、学校行事での幼児、児童生徒の様子を紹介いたします。

視覚支援学校 幼小学部 「それぞれのお楽しみ会」

幼稚部は12月15日(金)に、小学部は19日(火)にそれぞれお楽しみ会を行いました。幼稚部では、制作活動や音遊びをしました。活動後には、素敵なクリスマスの飾りが完成しました。小学部では、お楽しみ会でやってみたい活動を自分たちで考え、かくれんぼと出し物をしました。その後、お互いに作ったものをプレゼントし合いました。かくれんぼは、冬の屋外での活動にもかかわらず男の子4人は元気に活動していました。幼稚部も小学部もそれぞれに、とっても楽しい時間を過ごすことができました。
(小学部副主事 畠腹 まゆみ)



視覚支援学校 中学部 「防災について考えよう」

中学部では防災をテーマに「総合的な学習の時間」の学習に取り組みました。東日本大震災当時の学校や家庭の様子について聞いたり、コミュニティ福島での実験や消防署での災害体験などを経験したりする中で、震災の影響や防災に対する意識や関心を高めることができました。様々な防災グッズも実際に試し、分かったことをまとめて「学習の成果発表」の際に発表しました。「使ってみないと分からなかったので、聞いたり体験したりできてよかった。」との感想を観衆の方からいただくことができました。
(中学部主事 志賀 美保)



視覚支援学校 高等部普通科 「第10回ジョイントコンサート開催」

12月20日(水)に、福島高校・橘高校の合唱部、大笹生支援学校選択音楽グループとの交流学習「第10回ジョイントコンサート」が開催されました。昨年度は、コンサート間近に新型コロナウイルスの感染拡大により中止となってしまいましたが、今年度は合唱や合奏による交流や本校の生徒たちが考えたゲームで楽しむことができ、交流を深めることができました。高校生ならではのみずみずしく力強い歌声があふれるコンサートとなり、心温まる時間を過ごすことができました。(高等部普通科長 大友 洋平)



視覚支援学校 高等部理療科 「臨床体験発表会」

12月21日(木)に令和5年度臨床体験発表会が行われました。午前の部は、浮腫、五十肩、睡眠、筋への刺激の違いや美容をテーマに各生徒が実験調査研究や症例研究など5題の発表があり、午後の部は筑波技術大学准教授の近藤 宏先生を講師に迎え、下肢の運動機能評価を中心に実技講習会が行われました。また今年度は、生徒発表を東北地区の3校に配信し、他校からの質疑もあり、交流及び共同学習の機会にもなりました。

今後も生徒の学びの機会の充実に向けて、様々な工夫をしていきたいと思っております。

(高等部理療科長 小池 佳郎)



聴覚支援学校福島校 幼稚部「秋の遠足」・小学部「合同学習発表会」

幼稚部の秋の遠足は、10月20日(金)に伊達市にある「スマイルパークほばら」と「大泉公園」で実施し、楽しそうな遊具で笑顔いっぱい遊ぶことができました。小学部は、10月21日(土)に福島第四小学校と合同で学習発表会を実施しました。今年度は、アクアマリンふくしまの移動水族館での体験を振り返り「海の生きものを守ろう!」というタイトルで、海の生きものについてと海の生きものを守るためにできることについて図鑑やインターネット等を使って調べ、友達と協力して発表することができました。(聴覚支援学校福島校 教頭 小河 仁)



「大切にに使わせていただきます。」

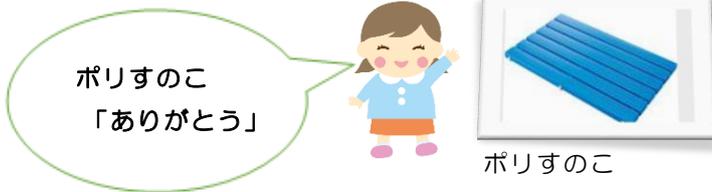
聴覚支援学校福島校にゆかりのあるローラン プルティエール様より、後援会に10万円の御 寄付をいただきました。

ひとかたならぬ御厚情に深く感謝を申し上げます。幼児児童生徒の教育活動の支援に有効に 使わせていただきました。

(視覚支援学校 教頭 逸見大介)

視覚支援学校に今年度開設された幼稚部 では、後援会幼稚部設置準備費としていた だいた予算から、幼児が屋外での遊びで活 用する「ポリすのこ」を購入させていただきました。軽量で、分解して持ち運びがで きるため、学校敷地内や近隣の公園へ出か ける時に持参し、幼児が座っておもちゃで 遊んだり、遊びの合間に休憩して水分補給 をしたりする際に活用させていただいてい ます。誠にありがとうございました。今後 とも幼稚部の教育活動への御支援をよろし くお願いいたします。

(幼小学部主事 高橋 和代)



令和5年度 会費等の御協力をいただいた方々及び団体等 (敬称略)

今年度も、在籍している幼児児童生徒の保護者の皆様に御協力をいただきました。ここには、御協力いただいた旧職員の皆様及び特別会員、関係団体の皆様のみ記載させていただきますので、御了承ください。(個人については五十音順に記載)

たくさんの御支援・御寄付ありがとうございます。

守工業株式会社
株式会社三宅新聞店
社会福祉法人あおぞら福祉会 菊の里
有限会社大野建築設計事務所
株式会社トヨネスト
福島テレビ株式会社

藍原 裕子 加藤 由香里
阿部 教夫 菅野 孝一
荒牧 美穂 菅野 典子
安藤 俊典 菅野 美恵
五十嵐 登美 榎田 省吾
伊藤 志津子 栗村 美智子
海野 薫 古関 綾子
江口 和子 古関 京子
大谷 典子 小檜山 宗浩
大和田 栄子 小室 恵美子
小野 祥一郎 小山 久美
小野 誠子 齋藤 和也
小野 貴則 齋藤 和代
貝沼 ひとみ 齋藤 裕子

齋藤 浩之
齋藤 洋之
佐久間 理江
桜井 礼子
佐瀬 由紀子
佐藤 健一
佐藤 浩士
佐藤 正雄
穴戸 英樹
篠木 美香
篠木 まち子
篠田 路子
庄子 紀子
末永 由美子
杉山 裕恵
須田 博行
須田 康仁
平 祥江
高橋 里子
高橋 英明
高橋 富士子

田中 聡一郎
千代 行雄
千代 則子
中村 雅彦
二瓶 睦
二瓶 恵美子
野内 容子
芳賀 孝美
橋本 淳一
原田 道久
古山 敦子
星 美津江
皆川 美紀
武藤 永治
村上 卓
望木 昌彦
柳内 泰二
藪内 敬子
山口 志保
ローラン プルティエール
渡邊 葉子

各市町村
福島市
郡山市
いわき市
白河市
相馬市
二本松市
南相馬市
伊達市
本宮市
大玉村
南会津町
鮫川村

編集後記



日頃より本後援会に御理解と御支援をいただき、感謝しております。本紙面を通して幼児児童生徒の様子と本会の事業内容について御理解いただければ幸いです。これからも本会活動充実に向けて努力して参りますので、御支援をよろしくお願いいたします。